情報廃棄の『タケシタ』サービス案内資料



竹下産業株式会社

TAKESHITA SANGYO

信頼をつなぐ、情報資産の
「安全な手放し方」

資料目次

P02-03 ●今後の情報管理について＋竹下産業のセキュリティ体制

P04-05 ●機密文書処理サービス「T-CUBE」

P06-08 ●HDD・SSD・PC＋電子記録媒体の情報漏洩対策

P09 ●まとめ、会社概要

P10-11 ●個人情報の取り扱いについて＋情報セキュリティ・環境基本方針

今後の情報管理について

企業の「信頼」を未来へつなぐ

これからの情報管理

デジタル化が進み、オフィスで扱う情報媒体は紙だけでなく、PCやサーバー、USBメモリなど多岐にわたります。併せて昨今、さまざまな情報漏洩が社会的にも大きな問題となっています。これらを適切に手放すことは、単なるリスク管理にとどまらず、企業の信頼性を高めることに繋がります。多様化するメディアに合わせた最適な処理体制を選択することで、企業のセキュリティはより強固なものとなり、安心して事業に専念できる環境が整います。



竹下産業株式会社とは

TAKESHITA SANGYO

お客様の「不安」を「安心」に変える“総合廃棄物処理のプロフェッショナル集団”として、1933年の創業以来、足立区を拠点に産業廃棄物処理業を営んでまいりました。機密文書や電子記録媒体の情報抹消から一般産業廃棄物の適正処理まで、お客様の多様なニーズにお応えしています。

私たちが向き合うのは、単なる「モノ」ではありません。お客様の未来を左右する重要な「情報資産」です。「情報漏洩」というリスクから企業様を守るため、90年の歴史や東京都認定施設という確かな環境で、一つひとつの作業に一切の妥協なく、お客様に「絶対の安心」をお約束いたします。

取引実績：2459社

データ廃棄：131685台

※2026年10月末現在

タケシタの安全・確実な処理への取り組み

①所在地非公表・完全監視の「情報抹消センター」

●**所在地非公表**：セキュリティ確保のため、処理施設の所在地は一切公表していません 。

●**24時間監視体制**：SECOMのセキュリティシステム
（監視カメラ15台、パッシブセンサー、警報機、レコーダー）を完備し、
24時間体制で施設を監視しています 。



●**クローズドでの処理**：すべての作業は、セキュリティが整備された自社工場内（屋内）
で行われるため、第三者の目に触れるリスクや、外部への飛散を完全に防ぎます。

②GPS標準搭載車両で「輸送リスクゼロ」への挑戦

●**リアルタイム動態管理**：全車両に高感度のマルチGPS受信機を標準搭載。
輸送車両の位置・速度・状態をリアルタイムで確認可能です。

●**施錠車両での輸送**：完全施錠された自社車両を使用し、
第三者の接触を物理的に遮断します。



③国・第三者機関が認める「信頼の証」

●**「優良産廃処理業者」認定取得**：遵法性、事業の透明性、財務の健全性などを
クリアした事業者のみが得られる、環境省認定の資格を取得しています。

●**産廃プロフェッショナル認定**：東京都から認定を受けた優良性基準適合認定業者です。

●**ISO認証**：全社員・全工程を対象にISO27001（情報セキュリティ）、
ISO14001（環境）認証を取得しています。

●**マニフェスト伝票の発行**：産業廃棄物処理法に基づく正式な書類を発行。
破砕処理が確実に実施されたことを裏付ける法的な証拠となります。

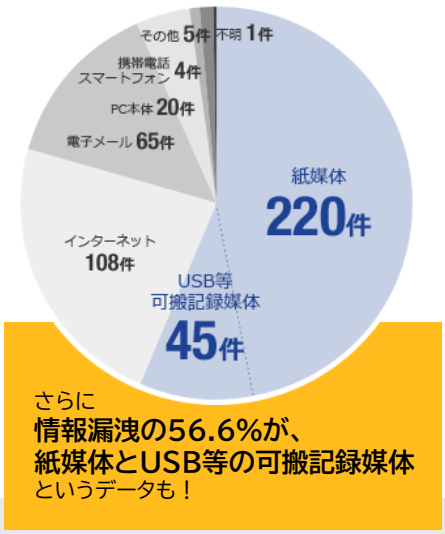
機密文書処理サービス「T-CUBE」について



T-CUBE

機密文書に関する
こんなお悩みありませんか？

- シュレッダーの労力やコストを減らしたい
- 確実に情報を処理したい
- 持ち出し、紛失、盗難が心配
- 量が多くて処理しきれない



さらに
情報漏洩の56.6%が、
紙媒体とUSB等の可搬記録媒体
というデータも！

「T-CUBE」がお勧めです！

インターネットを活用した機密文書処理サービスです。
お客様の排出量やニーズに合わせて、最適なプランをお選びいただけます。

法人向け

①T-CUBE Basicプラン
（関東／直接回収）



②T-CUBE Mailプラン
（全国／郵送）



③T-CUBE Guardプラン
（23区／機密ボックス）



「T-CUBE」の特徴2選(※1)

①「物理」と「デジタル」による二重の管理体制

- 回収から情報抹消まで一貫した自社処理。
- GPS搭載の施錠車両で輸送し、所在地非公開の施設で処理。
- 機密文書はバーコードで管理し、処理状況はリアルタイムで追跡可能。
- 通信はSSLで暗号化し、データの盗聴・改ざんを防止。

②Web完結のスマートな利用体験

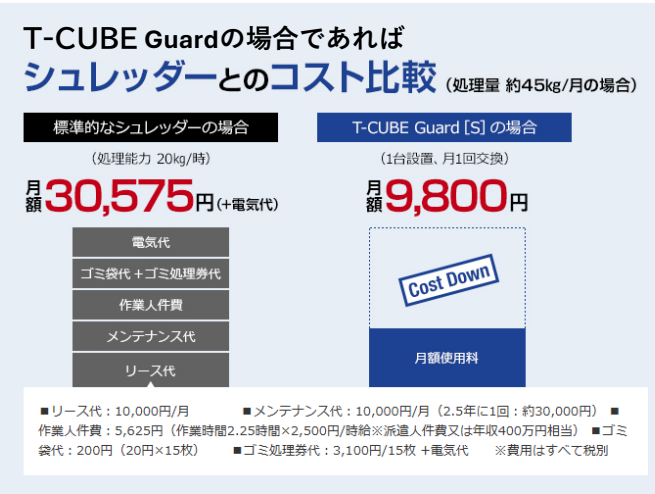
- 集荷依頼は24時間Webサイトから申し込み可能。
- ファイルやバインダー未分別のまま処分可能。(※2)
- 処理完了の通知や証明書はメールで自動配信され、ペーパーレスでスマートな管理を実現。

① インターネットで集荷依頼 ▶ ② 機密文書をお引き取り ▶ ③ 処理完了通知を確認

(※1)Mail／Postプランは一部除く
(※2)段ボール箱をそのまま処理する未開封プランには適用されません。

導入のメリット

- 業務効率の向上
- セキュリティ＆コンプライアンス強化
- コストの大幅な削減



実績

IT関連、教育関係、法律事務所など様々な業界の方が利用中。
現在、月間約3000箱をお預かりしています(2025年10月現在)。

利用者からの声はこちらから

HDD・SSD・PC＋電子記録媒体の情報漏洩対策



電子記録媒体やOA機器の処分に関する
こんなお悩みありませんか？

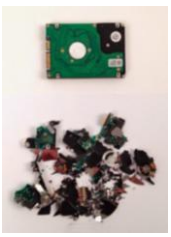
- PCやサーバーから情報が漏れないよう、データを完全に消去した上で廃棄したい
- ただ廃棄するだけではなく、確実に処理したことを証明するエビデンスが欲しい
- 信頼できる委託先が見つからず、万が一の事故が怖くて処分できない
- 自社での物理破壊（穴あけ等）は手間がかかる上、本当に復元不可能か不安
- 初めて廃棄するメディアや特殊な機器のため、正しい捨て方がわからない

「電子記録媒体・OA機器等処理サービス」がお勧めです！

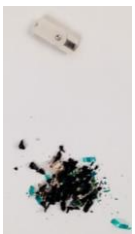
物理破壊・磁気消去・破砕といった多重の無効化工程と、東京都認定の専用設備により、
あらゆる記録媒体を復元不可能な状態にします。
回収から情報抹消工程までを自社で行う、セキュリティの確保とリサイクルを両立したワンストップサービスです。


CD・DVD


フロッピー


HDD
（サーバー用可）


スマート
フォン


USB


PCB


ICカード


LTO

その他

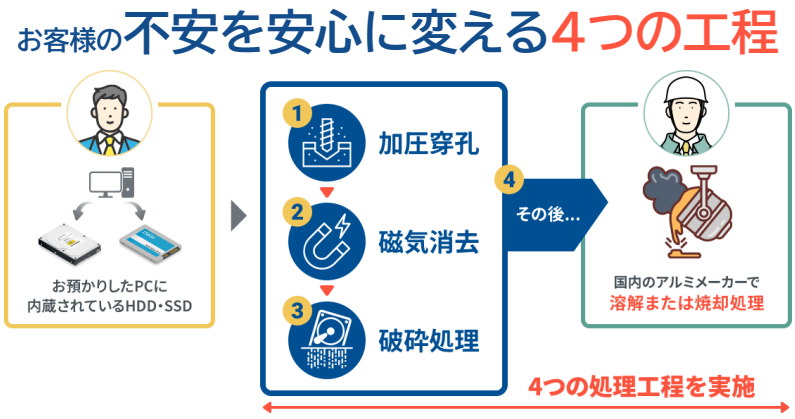
SSD	テープ類全般
CF	DAT
CGMT	DLT
CMT	SLR
eMMC	カード類全般

他、各種情報媒体に対応しています。

本サービスの特徴

①4段階の徹底したデータ抹消工程

●加圧穿孔」「磁気消去」「破砕処理」「溶解・焼却」の4工程でデータを完全抹消。
●物理破壊が困難なSSDも、専用破砕機で10mm以下に粉砕し復元不可能に。
●処理後は再資源化、または熱エネルギーとして有効活用（サーマルリサイクル）。



②厳格な管理システムとプロセスの可視化

●バーコードで個体管理し、「いつ・どこで・誰が」処理したかをシステムに記録。
● GPS標準搭載車輌で輸送するため、リアルタイムで車両の位置を確認可能。
●情報媒体の処理画像を添付した「電子記録媒体機能破壊証明書(タイムスタンプ入り)」を発行。

透明性と利便性を高める「安心オプション」

●お客様の希望される手順を踏む、オーダーメイドの処理工程にも対応。

●処理工程の録画データ提供や、リアルタイムで作業を確認できる
オンライン立会いで不正がないことを証明。

●移動式HDD専用破砕機を搭載したトラックでお客様の拠点へ訪問する出張（オンサイト）データ消去も。

PC・サーバーの「買取・データ消去」プランも

当社では、サーキュラーエコノミーにも取り組んでいます。第三者保守サービスを提供する企業と協業し、
専用ソフトでデータを復元不可能な状態にした上で、一部部品を保守用パーツとして再利用します。
サーキュラーエコノミーを実現することで、お客様のSDGs活動に貢献できるほか、
廃棄コストの削減やキャッシュバックにつながる場合もあります。

これまでは
「廃棄」が主でしたが…



物理破壊による
「廃棄」



溶解・焼却

これからの
「捨てない」
新提案

廃棄せず部品・パーツとして再利用



記憶媒体（HDD/SSD）の
データを、
復元不可能な
状態で完全消去



第三者保守サービスを
提供する企業様へ、
保守用のパーツ
として供給

導入のメリット

- 情報漏洩リスクの排除
- 廃棄記録のエビデンス確保
- 輸送リスクの低減
- 環境経営・SDGsへの貢献

実績

情報サービス業、税理士法人、公益法人、医療事務、システム維持全般、製造業など
幅広い業界の方に利用いただいています。

利用者からの声はこちらから HDD・SSD 電子記録媒体

まとめ

情報漏洩対策は、

コストから「価値」を生む時代へ

冒頭で触れた通り、昨今の情報漏洩事故は後を絶たず、その社会的影響は計り知れません。しかし、確かな処理工程と厳格な管理体制があれば、そのリスクは未然に防ぐことができます。
竹下産業では、情報漏洩のリスクを極小化するセキュリティ体制と、再資源化を前提とした環境配慮型の処理フローを確立しています。創業以来90年にわたり積み重ねてきた信用を基盤に、**私たちはお客様の情報を守る「最後の砦」として、情報漏洩という事態を絶対に発生させないことをここにお約束いたします。**



代表取締役 竹下 敏史

竹下産業株式会社 TAKESHITA SANGYO の機密抹消ソリューション一覧

	機密文書処理サービスT-CUBE	電子記録媒体・OA機器等処理サービス
サービス概要	専用ボックス等で書類を回収し、大型シュレッダーで破砕した後に溶解。	HDD・PC等のデータを4段階の工程で完全に破壊・消去。
対象となる媒体	【紙媒体】 書類、ファイル等	【デジタル媒体】 PC、サーバー、HDD、SSD、 USBメモリ、スマホ、LTO等
処理方法	破砕＋溶解処理 （未開封のまま処理も可能）	4段階の完全抹消 （加圧穿孔＋磁気消去＋破砕＋溶解）
特徴	①「物理」と「デジタル」による 二重の管理体制 ②Web完結のスマートな利用体験	①4段階の徹底したデータ抹消工程 ②厳格な管理システムとプロセスの 可視化

個人情報の取り扱いについて

【個人情報保護理念】

当社は、廃棄物収集運搬業務および機密文書破砕処理業務を営む個人情報取り扱い事業者として、お客様からお預かりした個人情報の適正な取り扱いならびに保護の徹底は、社会的責務であると考えます。さらに、個人情報の保護によりお客様にご安心いただくことは、当社の事業活動の重要な基本事項の一つであると考えております。そのために当社では、「個人情報保護方針」を掲げ、その遂行のために最大限努力することをここに宣言いたします。

【個人情報保護方針】

1. 当社において個人情報を取り扱う際は、廃棄物収集運搬業務および機密文書破砕処理業務、ならびに従業員の雇用、人事管理上に必要な範囲でのみ取得し、利用、提供を行います。また、お客様から同意を得た範囲を超えて個人情報が目的外の利用、提供がされないよう管理します。
2. 当社は、個人情報に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守します。
3. 当社では、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏洩を予防するために合理的な安全対策および是正処置を行います。
4. 当社は、個人情報の管理責任者を選任し、個人情報保護マネジメントシステムの実施および運用に関する責任と権限を与え、適切な管理を行います。
5. 当社の個人情報保護マネジメントシステムは、教育、運用、監査、見直しなどを通じて、継続的に改善を行います。
6. 当社では、個人情報の開示、訂正、削除、利用および提供の拒否要求、その他苦情、ご相談など、個人情報に関するお問合せについての窓口を設置し、2週間以内に対応致します。

制定年月日 2005年 9月1日
最終改訂年月日 2009年 1月25日
竹下産業株式会社代表取締役 竹下敏史

情報セキュリティ・環境基本方針

当社は、機密書類及び電子記録媒体の情報抹消処理、廃棄物の収集運搬・処分を行う事業者として、顧客情報をはじめ、お客様からお預かりした各種媒体など、重要な情報資産をセキュリティリスクから保護し、適切な管理を行なうことが、お客様との信頼関係構築につながると確信し、情報セキュリティマネジメントシステムを確立・運用いたします。また環境保全への取り組みは、もはや社会的責務であると考えております。情報セキュリティマネジメントシステムならびに環境マネジメントシステムの適切な運用と管理を事業の重要事項と位置づけ、経営者をはじめ全従業員で実施、遵守してまいります。

[情報セキュリティマネジメントシステムの実施にあたっての基本原則]

1. 当社は、情報セキュリティ基本方針の表明及び、ISMSマニュアル、情報セキュリティ手順書を制定し、取扱う情報に対して適切な情報セキュリティ対策を講じます。
2. 全従業員は、定められた情報セキュリティ対策に準じて、情報資産の取扱い、保護・管理を行います。万が一、違反した場合は、その内容によって罰則を課します。
3. 当社は、社内の責任体制を明確にすると共に、情報セキュリティに関する法令、規制、得意先各社との契約を遵守します。
4. 当社は、適切なリスクアセスメントに基づいて、情報資産への不正なアクセスに対して、効果的且つ安全なセキュリティ対策を講じます。
5. 当社は、情報セキュリティの監査・是正・教育を定期的に行い、セキュリティ対策の適切な改善、維持を図ります。
6. 当社は、情報資産を外部業者に委託もしくは共有する場合、当社ルールに従い、安全が確保されると確認できる委託先を選定すると共に、適切な教育・監督を行います。
7. 情報漏洩・改竄等の事故が発生した場合は、迅速且つ正確に状況を把握し、適切な判断と対応を行います。

[環境マネジメントシステムの実施にあたっての基本原則]

1. 事業活動における環境側面を認識し、継続的な環境マネジメントシステムの向上と環境汚染の予防に取り組みます。
2. 環境に関する法令、条例および当社が受け入れたその他の要求事項を遵守します。
3. 環境パフォーマンスの向上のため、目的・目標を設定し、改善活動を推進するとともに、それらの見直しを行います。なお当方針は、当社の全従業員に周知すると共に、社外一般にも広く公開いたします。

制定：2012年11月1日
竹下産業株式会社代表取締役竹下敏史

会社概要

会社名	竹下産業株式会社
本社所在地	〒123-0852　東京都足立区関原一丁目14番2号
代表取締役	竹下 敏史
資本金	1000万円
創業	1933年6月
創立	1975年7月
主な事業内容	情報廃棄、廃棄物処理

お問い合わせ

03-3887-1761
営業時間　9:00～17:00

FAX：03-3887-9088

ホームページ

情報廃棄のタケシタ　検索

https://www.r-station.co.jp/